



「にっぽん丸」が入港しました

8月19日、豪華客船「にっぽん丸」が四日市港に入港し、歓迎式が開催されました。

今回は、四日市港を発着する「熊野花火大会と高知クルーズ」の旅。8月17日に四日市港を出港した乗客は豪華客船の旅を楽しみ、19日に帰港しました。

この入港を歓迎し、井上四日市市長のあいさつや花束贈呈、諏訪太鼓の演奏などが行われました。

また、事前募集で当選された150人を対象に船内見学会が行われ、抽選に当たった人たちは船に乗り込み、豪華客船の見学を楽しみました。

「にっぽん丸」にはレストランやラウンジのほか、シアターや開閉式の屋根のあるプールなど、洋上のリゾートを満喫できる施設がいっぱいです。「海の別世界」をコンセプトとしてデザインされた船内には、ステンドグラスや大きな壁掛け、大陶板画など、各所に装飾がちりばめられています。

四日市港の港湾計画改訂調査を進めています

四日市港の港湾計画は、平成10年7月の改訂を経て現在に至っています。その目標年次が平成20年代前半であることから、現在、四日市港管理組合では平成40年代前半を想定した長期構想と平成30年代前半を目標年次とする港湾計画について検討を進めています。

このため「四日市港長期構想検討委員会」を設置し、今年7月9日には第2回委員会を開催しました。委員会には「物流・まちづくり部会」「みたと環境部会」の2つの部会を設け、詳細な検討を進めています。

検討状況等については、四日市港管理組合のホームページに、その都度、資料等を掲載しています。



CO₂削減の取り組みとして、エコ通勤を実施しました



地球温暖化対策の一環として、7月25日に霞ヶ浦地区のコンビナート企業13社と四日市港管理組合の連携のもと、エコ通勤を実施しました。

四日市港管理組合では、対象職員70人のうち19人が参加し、その結果、約34kgのCO₂排出量を削減することができました。

エコ通勤とは、自動車（バイクを含む）から公共交通機関、自転車、徒歩、相乗りなどに転換し、環境にやさしい通勤をすることです。

住民と四日市港管理組合との防災訓練

昨年度から、臨海部の自治会や企業などと「いざというときには、身近な防潮扉を自主的に閉める」という内容の協定を順次、締結しています。

この協定は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という「自助」の精神に基づいたものですが、一方で、住民・企業・管理組合が互いに支えあうという「共助」による防災体制の構築にも役立っています。

例えば、東海・東南海・南海地震の発生の際には、津波が約80分で四日市港の港湾区域内に到達すると予測されており、特に迅速な対応が必要です。

こうした中で、締結した協定の実効性を維持するために、毎年、防潮扉の操作方法などの説明会を行っています。

写真は、9月28日（日）に港地区防災訓練の一環として行われた防潮扉操作説明会の様子です。また今回は、防潮扉の操作説明のほかに、四日市港管理組合のある四日市港ポートビルから遠隔操作によって稲葉水門を閉鎖する様子も見学していただきました。



石原地区で鳥類調査を実施しています

石原地区では、平成3年から、しゅんせつ土による公有水面の埋立が行われています。四日市港管理組合では、この事業が及ぼす環境への影響を監視するため、毎年、水質・底質調査を実施していますが、本年度は、あわせて鳥類の調査を実施しています。

現在、コアシサシやシロチドリなど、約30種類が確認されています。

- 調査箇所：石原地区（埋立地、周辺海域、鈴鹿川河口部）
- 実施期間：平成20年5月～平成21年3月



シロチドリ(平成20年5月28日撮影)

四日市港公共くん蒸施設の竣工式

10月16日、四日市港公共くん蒸施設の竣工式を荷主・港湾関係者の方々にご出席いただき開催しました。

このくん蒸施設は、40フィートの大型コンテナをオンシャーシのまま消毒することができ、また、青酸ガスをはじめ3種類のガスによるくん蒸消毒ができることから、青果物の取り扱いも可能となるなど、農産物の取り扱い等における四日市港の利便性が大きく向上しました。



上海で四日市港セミナーを開催

四日市港説明



9月17日(水)、四日市港利用促進協議会の主催による「四日市港セミナー」が上海で開催されました(写真は開会のあいさつをする同協議会名誉会長の井上哲夫四日市市長)。

上海を含めた長江デルタ地域は、日本の大手企業も数多く進出している中国有数の産業地帯であり、一大物流拠点となっています。

現在、四日市港と上海の間には週5サービスが就航しており、今回のセミナーを契機として、四日市港と上海周辺地域間のコンテナ貨物量のますますの増大が期待されます。

このほか、11月には滋賀県草津市で四日市港説明会、12月には津市で四日市港セミナーの開催を予定しています。

「国際物流総合展2008」に出展。四日市港を東京でPR!

四日市港管理組合は、2年に1度開催されるアジア最大規模の物流・ロジスティクス専門展示会である「国際物流総合展2008」に四日市港利用促進協議会と共同で出展しました。

9月9日から12日までの4日間にわたって東京ビッグサイトで開催された同展示会では、四日市港のブースやプレゼンテーションセミナーにおいて、四日市港の現況や取り組みだけでなく、最寄りの四日市港を活用することによって得られるCO₂削減効果についても紹介し、物流における環境負荷低減を提案しました。



四日市港親子エコクルーズを開催しました

8月26日、27日に夏休み親子エコクルーズを開催しました。

四日市港管理組合が所有する港内巡視船「かもめ」に乗って、海水の採取や海から四日市港の見学を行った後、採取した海水を使って水質調査体験を行うなど、楽しみながら四日市港と環境について学習し、四日市港の水質や生活排水が環境に及ぼす影響について学んでいただきました。



四日市港・シドニー港姉妹港提携40周年

オーストラリアの東部に位置するシドニー港と四日市港は、古くから羊毛の輸入を通じてつながりが深く、その関係から昭和43(1968)年



★「よっかいち水族館」森館長の「おもしろ動物」実験教室を楽しむ子どもたち

10月24日に姉妹港となりました。その後も交流を重ね、本年10月24日、姉妹港提携40周年を迎えました。

また、なやプラザでは、四日市市制111周年と姉妹港提携40周年を記念して、10月24日から11月9日までオーストラリアの海をテーマにした期間限定の「よっかいち水族館」がオープンし、オーストラリアやその近海に生息する魚たちを間近で楽しんでいただきました。



これはポートビル前にあるシドニー港公園。公園内の遊歩道がオーストラリアの形になっています。

四日市花火大会見学会を開催しました

8月24日、四日市港ポートビル14階の展望展示室「うみてらす14」で「四日市花火大会」の見学会を開催しました。広く港に親んでいただく機会を提供しようと、今回で4回目の開催となります。

当日は、事前公募により選ばれた80人の皆様に参加され、90メートルの高さから見る花火を楽しんでいただきました。



展望展示室「うみてらす14」クリスマスコンサートの開催と無料開放のお知らせ

展望展示室「うみてらす14」では、以下の日程でクリスマスコンサートを開催します。

また、コンサート開催日には終日、展望展示室を無料開放しますので、皆様、お誘いあわせの上、ぜひご来館ください。

12月20日(土)
13:00~14:00

出演者:TOMO

★心を癒す素朴なオカリナの音色をお楽しみください

12月20日(土)
16:00~17:00

出演者:キャラ&ルミコ アロハノウ
ポリネシアンダンス

★魂のフラ、エキサイティングなタヒチアン、異国の踊りでいつもとは違ったクリスマスをお楽しみください。

出演者:roy wood

12月20日(土)
19:00~20:00

★わかりやすく、あたたかい心溢るるJ-popをお楽しみください。

12月21日(日)
16:00~17:00

出演者:ブルーリーブス

★華やかで聴きごたえのある大正琴の音色をお楽しみください。

12月21日(日)
19:00~20:00

出演者:Mukka1・向井由里子

★美しい夜景の中、アコースティックギターの弾き語りをお楽しみください。

無料開放
(展望展示室営業時間)
9:30~21:00

回覧欄

★みなさんからの港に関する面白い写真や情報をお待ちしています。